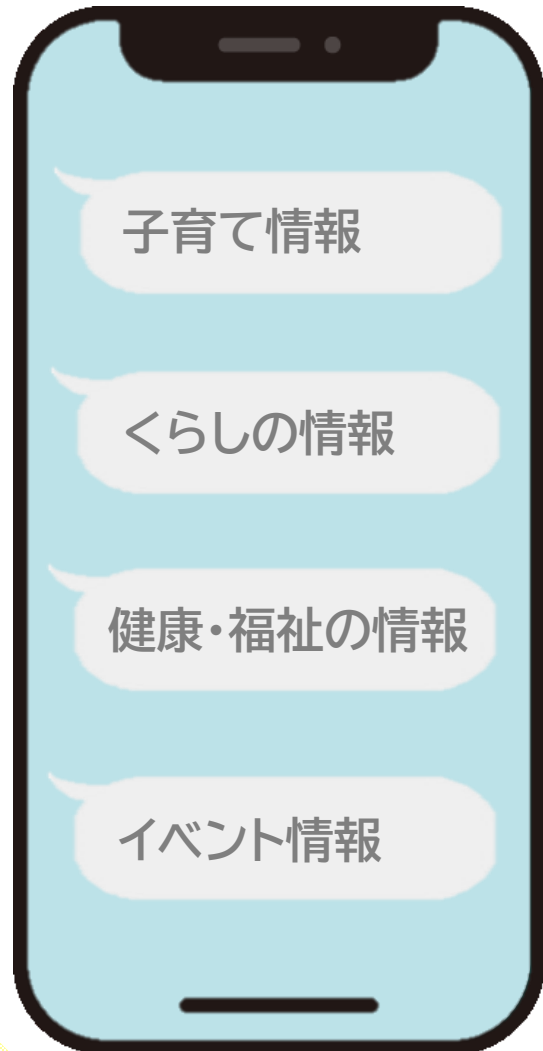


- (1) LINEセグメント配信開始
- (2) 伊丹スポーツセンター ネーミングライツ・パートナー 契約を締結！
- (3) もうすぐ見頃！ 秋バラ咲き誇る荒牧バラ公園
- (4) 「いたみ健康フェアinイオンモール伊丹昆陽」を開催
- (5) 「地域医療体制確保」の取り組み状況について
～近畿中央病院の診療休止を踏まえて

LINEセグメント配信開始

担当課：広報・シティプロモーション戦略課

市公式LINEが10月からパワーアップ！



POINT
01

最新情報が届く

LINEはそのとき必要な最新情報を受け取ることができます

POINT
02

欲しい情報だけ受け取れる

「受信設定」を行うことで、興味・関心や年齢・居住地に合わせた情報だけが届きます

POINT
03

気になる情報は画面をタップ

画面上のリンクボタンをタップし詳細な情報を確認できます



POINT
01

ホームページに簡単アクセス 便利なボタンが増えました

POINT
02

ごみの捨て方に迷っても LINEで解決できます

伊丹市立伊丹スポーツセンター ネーミングライツ・パートナー契約を締結！

担当課：経営企画課

愛 称

TOYO TIRES

伊丹スポーツセンター

パートナー
企業

TOYO TIRE 株式会社

本社：伊丹市藤ノ木2丁目2番13号

契約金額

年間360万円（税抜）

契約期間

令和7年11月1日～令和12年10月31日

「伊丹市立伊丹スポーツセンター」は年間約40万人が利用する総合スポーツ施設です。幅広い世代の市民がスポーツを楽しむ場として親しまれており、各種大会やイベントが開催されるなど、地域の健康づくりと交流の拠点です。

TOYO TIRE株式会社は、1953年に伊丹工場設立、2017年には本社を伊丹市へ移転し、今年で創業80周年を迎えました。ネーミングライツ契約を通じて伊丹市とTOYO TIRE株式会社は連携を一層深め、施設のアップデート、スポーツ活動事業の充実、地域社会の活性化を図ります。

標示はイメージです



体育館



もうすぐ見頃！秋バラが咲き誇る荒牧バラ公園

担当課：みどり自然課

**荒牧バラ公園では、世界のバラ約250種1万本が、
10月中旬頃から秋バラの見頃を迎えます。**



気温の低下とともに花が色鮮やかに咲き誇る秋バラは、花数は春ほど多くないものの、色濃く深みがあり、芳醇な香りが豊かで花持ちが良いのが特徴です。

最新の開花状況は、みどりのプラザホームページでご確認ください。
(<https://midoriplaza.com/>)



秋の開花状況



天津乙女

< 見頃 10月中旬～11月中旬 >

【荒牧バラ公園】

開園時間：午前9時～午後5時

休園日：火曜日

(10月・11月は無休)

入園料：無料

駐車場：約230台

(普通車:500円/回)

「いたみ健康フェア inイオンモール伊丹昆陽」を開催

担当課：健康政策課

第27回

いたみ健康フェア

in イオンモール伊丹昆陽

広げよう！健康づくりの輪

10/4(土) 11:00～17:00 (参加無料)

いたみ健康チャージポイント対象イベント

- ☆まちかど測定会
- ☆伊丹市薬剤師会コーナー
- ☆健診・健康情報
- ☆心身スッキリヨガ
- ☆フリースローに挑戦
- ☆跳び箱体験 など

健康トークショー(14:30～14:55)

中田市長とウォーキングドクターのデューク更家さんによる健康トークショー。伊丹市健康計画の3つの柱「検診」「食育」「運動」についてディスカッションします。
着席先着50名様

デューク更家さんと
モールウォーキング！



「地域医療体制確保」の取り組み状況について①

～近畿中央病院の診療休止を踏まえて～

担当課：地域医療体制整備推進班

1. 地域医療体制確保に向けた基本的考え方

- ① 兵庫県・伊丹市医師会・伊丹市歯科医師・市立伊丹病院等が連携し、近畿中央病院がこれまで担ってきた、地域における医療機能へ対応していく
- ② 尼崎市医師会・尼崎市等とも連携し、阪神圏域全体における、機能分化・連携強化の取組みを推進する
- ③ 患者の皆さまに不安や不利益を生じさせる事の無いよう最大限配慮する

「地域医療体制確保」の取り組み状況について②

～近畿中央病院の診療休止を踏まえて～

担当課：地域医療体制整備推進班

2. 地域医療提供体制の維持

市立伊丹病院における診療科の新設・拡張の検討

近畿中央病院がこれまで受入れてきた入院・外来患者を、現行の市立伊丹病院において、できるだけ多く受け入れる体制を整備

近畿中央病院職員の先行受け入れ

令和8年4月より全職種で100人規模の職員を市立伊丹病院で受け入れることで、体制整備に必要とされる人材を確保

アクセス向上策の検討

近畿中央病院利用者の皆さまの市立伊丹病院へのアクセス向上をめざす

3. 救急搬送患者受入れ体制の強化

市立伊丹病院における救急搬送患者の受け入れ

近畿中央病院がこれまで受入れてきた伊丹市消防局からの救急搬送患者 約2,000人/年を市立伊丹病院において対応

市立伊丹病院における体制強化の取り組み

人員体制の強化・運用方法の改善・ベッドコントロールの効率化等々の実施により院内における救急受入れ体制を強化

市外流出の多い救急搬送患者への対応

専門医の招聘により、住み慣れた地域で必要とされる医療を安心して受診することができるよう体制の整備をめざす